

成果と課題

	成果	課題
授業実践を通して	・冬休みの課題として、「お正月の準備」「昔の道具」「地蔵について」のテーマを1つ調べたことは、昔の習慣や道具などについて興味をもつきっかけにつながることができた。 ・音読劇を単元のゴールにして、1年生に向けて発表を設定したことで、子供の学習意欲を高めたり、物語の読みを深めたりすることができた。 ・読み取りだけでなく、音読活動に取り組んだことが、人物や場面の様子を具体的に想像することにつながった。 ・気に入った場面を選ぶことで、作品のよさに気付くことができた。 ・音読劇をグループで取り組んだことにより、物語の情景を音読に反映しようとすることができた。 ・ワークシートの活用により、自分の考えを整理したり、表現したりすることができた。 ・トリオトークを行ったことにより、自分の考えを伝えたり、友達の考えから物語の読みを広げたりすることができた。	・読み取りにもう少し時間をかけるとよかった。児童の実態に応じて、読み取りの時間を設定することが必要である。 ・トリオトークでの発表に対しての反応について指導をする。「いいね」一言感想など、話を聞き合う際の話型やルールを設定するとよい。 ・トリオトークの形式について、各学年の発達段階に応じた学校での共通理解を図っていきたい。 ・自分の考えを書けているのに自信をもてない児童がいることから、できている自信や自覚をもたせる子供への評価の仕方を検討する。 ・教材において、「何の力を付けさせるのか」の課題設定が教師としても大事である。
アンケート結果を受けて	・国語好きが全体的には増えた。 ・自分の思いや考えを発表したり、友達の思いや考えを聞いたりすることが「好き」と答える児童の割合が増えた。 ・「ノートをほとんど書かない」と答えている児童がいるが、実際はワークシートに自分の考えをしっかりと書くことができている。 ・自分の思いや考えを発表したり、友達の思いや考えを聞いたりすることが好きな児童が増えた。トリオトークの成果と言えるだろう。	・本を読むことが好きな児童が若干減ってきている。絵本から長文の本への移行で、苦手意識が出てきている。 ・「ノートをほとんど書かない」と答えている児童がいるが、実際には書くことができているので自信がもてていないことが伺える。